

会 議 録

会議の名称	本庄市総合振興計画審議会 第2回
開催日時	平成29年3月28日(火) 午前・ 午後 1時30分から 午前・ 午後 4時まで
開催場所	本庄市役所 大会議室(6階)
出席者	審議会 ：岩崎委員、小暮委員、広瀬委員、堀口委員、齋藤委員、高橋委員、 中野委員、戸谷委員、江原委員、矢野間委員、渡辺委員、木村委員、 小林委員、田邊委員、谷田委員、茂木委員 事務局 ：今井企画財政部長、山下部企画財政部次長、小島課長補佐、堀越 主査、齋藤主査、今井主査 傍聴者 ：1名
欠席者	山口委員、内田委員、明堂委員、納富委員
議題 (次第)	1. 開 会 2. あいさつ 3. 議 題 (協議事項) 第1号 序論・基本構想骨子 構成について(資料1) 第2号 第1部序論/第3章本庄市を取り巻く社会経済情勢について(資料1) 第3号 第1部序論/第4章本庄市の概況と課題/3.まちづくりの主要課題について(資料1) 第4号 第2部基本構想/第4章基本構想について(資料1) 4. その他 5. 閉 会
配付資料	(事前資料) ① 資料1 次期本庄市総合振興計画序論・基本構想(骨子) ② 次期総合振興計画基礎調査報告書 確認事項について (当日配布資料) ③ 本庄市総合振興計画審議会 第2回 次第 ④ 参考資料 序論・基本構想(骨子)への意見 ⑤ 本庄市人口ビジョン ⑥ 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略
その他特記事項	
主管課	企画課

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
事務局	<p>みなさまこんにちは。年度末のお忙しいところ会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。これより本庄市総合振興計画審議会第2回会議を始めさせていただきます。本日委員の方から欠席のご連絡をいただいている方がいらっしゃいますので、その報告をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">（欠席の委員について報告）</p> <p>傍聴者1名と前回と同様に本庄ケーブルテレビが撮影の申し出がございましたので、ご了承願います。</p> <p>開会にあたりまして会長よりごあいさつをいただきます。</p>
会長	<p>みなさまこんにちは。第1回に引き続きまして年度末のお忙しい時期にご案内申し上げましたところ、忙しい中にもかかわらずご参加をいただき、ありがとうございます。前回第1回審議会におきまして、審議いただきました会議内容は、会議録にてみなさまも確認されているかと思えます。</p> <p>また、第1回目のときに質疑等ございました中で、広報等による傍聴者への案内についてもこちらの方で既に手配をさせていただき、広報等へ掲載をさせていただいております。今回はご承知のとおり核心部分に触れていきます。ぜひ少しでもいいものをつくっていきたいと思っておりますので、忌憚ないご意見をよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>会長ありがとうございます。それでは議事に入らせていただきます。本日の会議資料につきましてご確認をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">（配布資料の確認）</p> <p>それでは議事に移らせていただきます。議事の進行につきましては、審議会の条例第6条第1項により会長が議長となって行うこととなっております。これからの進行につきましては広瀬会長にお願いいたします。会長よろしくお願いたします。</p>
会長	<p>それでは私の方で議事を進めさせていただきます。会議のスムーズな運営にご協力をお願いいたします。協議事項第1号序論・基本構想骨子構成について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>●資料1 序論・基本構想骨子構成について説明</p>
会長	<p>事務局の方から説明がございましたが、みなさまからご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。</p> <p>ないということではよろしいでしょうか。それでは、次に協議事項第2号第1部序論／第3章本庄市を取り巻く社会経済情勢について事務局から説明をお願いいたします。</p>

事務局	●資料1 第1部序論/第3章本庄市を取り巻く社会経済情勢について 説明
会長	みなさまからご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。 ここでは納富先生の方からご意見を参考資料として配布させていただいていると思いますが、これについて事務局の方から説明をお願いいたします。
事務局	●参考資料_序論・基本構想（骨子）への意見について説明
会長	納富委員からのご意見を含めて、すべて今配布したばかりで、このように変えた方がいいのではないかという結論はそう簡単に出るものではないのではないかという気もいたしますが、もう一度みなさまご一読いただけたらと思います。
委員	骨子については大変すばらしい出来で感動するのですけれども、3点ばかり意見をさせていただきたいと思います。1点目は、4ページに「少子高齢化・人口減少による国内消費の減少や社会保障費の増大」と書かれているが、本庄市を取り巻く情勢の中で、「本庄市社会保障関連経費の増加」などの表現がいいかなと思いました。2点目は「安全・安心意識の高まり」について、児玉の方では500mクラスの山々が連なっていますが、本庄市についてはわからないと思うので、こういった事象についても東日本の地震とかが与えた本市の地域の環境や、小さい排水路などもあると思いますので、洪水というものについて、文章の中に位置づけていただければと思います。3点目は「環境・エネルギーの問題意識の高まり」について、これは2年前ですが、東京近郊、神奈川の水の汚染について非常に問題になりました。こういった有害物質、また他県においてまで危害を被るということについて調査ということを加えてもよろしいのではないかなと思いました。
会長	ありがとうございます。それでは文言について意見がございましたので、事務局の方はどうでしょうか。
事務局	まず1点目のご質問で社会保障関連経費という表現の方がいいのではないかということについては、そのようにさせていただきたいと思います。2点目は「安全・安心意識の高まり」の中に洪水関係の表現を記述してはどうかという意見につきましては、防災関連の担当課とも協議したいと思います。川が多いということはあるので、記述する方向で検討します。3点目は有害物質に関する調査ということについてはどこまで記述できるかは担当課と協議して進めていきたいと思います。
会長	6ページに関しては、企業による河川の汚染が発生したときに何の権限もないのかということ、調査というものができるようにそういった文言を入れたらどうかという意味だったかと思います。そういった意味だったかと思いますが、事務局の方はどうでしょうか。
会長	検討をさせていただきたいと思いますが、水の汚染関係のことかと思いま

	<p>す。ここでは本庄市を取り巻く社会経済情勢ということで、国の動き、世界の情勢の中でどんな動きがあるかを切り取った記述になっております。水の汚染関係についても新聞報道などもありましたので、そういった記述も必要ではないかというご指摘かと思えます。事務局の方でも会長とも相談させていただきながら、検討をさせていただきたいと思えます。</p>
会長	<p>担当課と協議する中で、そこに相応しい文言であるかなど精査をするということでもよろしいでしょうか。</p> <p>引き続き、みなさまからご意見をいただきたいと思えます。</p>
委員	<p>「安全・安心意識の高まり」について、今後大規模な地震、東南海や首都直下地震など30年以内に高い確率で発生すると言われております。本庄市でもかなりの震度で揺れる確率が高いと資料から読み取れ、大地震が発生した時、被災者の方が何百万人単位になるといわれています。被災者がいろいろなところに避難しなくてはいけないのですけれども、本庄市をはじめ埼玉県ではかなりの人数を受け入れなくてはならないと聞いています。その辺の対策についても入れておいてもいいのではないかと思いました。もう1点が「経済状況の変化」について、英国のEU離脱との表現があるが、この辺まで出すのであれば、TPPについても米国が離脱するわけですがけれども、この辺の影響も大きく出てくるのではないかと思えます。その内容についても入れたらどうかという提案です。</p>
会長	<p>このような意見がございましたが、「安全・安心意識の高まり」「経済状況の変化」の中で現在の文言のような文言になっていることについて事務局から説明はありますか。</p>
事務局	<p>「安全・安心意識の高まり」の中で首都直下地震あるいは東南海地震などが想定される中で埼玉県における避難者の受け入れ態勢について社会情勢に中に入って来るのではないかというご意見かと思えます。本市を取り巻く社会情勢の中では関わってくると思えますので、どんな風に盛り込んだ方がいいのか担当部局と協議して検討させていただきます。</p>
会長	<p>対策としては重要ではないかと思えますので、序論の中ではなく中身に入っていくところで改めて議論させていただくということでもよろしいでしょうか。EU離脱問題を入れるのであれば、TPPの米国離脱も入れるべきではないかという点についても事務局と担当課で協議してもらおうということでもよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>「安全・安心意識の高まり」ですが、「虐待やひきこもり、孤独死、自殺などの問題が発生していることから」とありますが、全国で民生委員が地域で関わっているところで発生していることは残念なことではあるのですが、「行政と関連団体との連携を強化し」、見守り活動の充実など社会全体で安全・安心の確保に取り組むことという文章にさせていただくのはどうかという提案でございます。</p>

会長	事務局の方でこの点についてどうでしょうか。
事務局	行政と関連団体との連携を強化していくこと自体は大事なことだと思います。ここで取り上げているのは本庄市の課題を挙げているのではなくて、国や社会情勢がどうなっているかということですが、関連団体との連携の強化が社会的に認識されているという表現の方が時代を反映した内容となっているのではないかというご意見かと思います。この点も調整の方はさせていただきたいと思います。
会長	調整させていただくということによろしいでしょうか。 先ほどありました納富委員からのご意見に関してですが、「安全・安心意識の高まり」について「取り組むことの大切さが再認識されています」に変えたらどうかという案がありましたが、この点についてはみなさま何かご意見はありますか。 「再認識」という表現に変更とするということによろしいでしょうか。
委員	はい。
会長	事務局はそのように変更をよろしくお願いします。 「国際テロなどの脅威に直面」という部分で前段の文章とのかい離が大きいのではないかという指摘もありましたが、この点についてどのように表現を変えた方がいいかということについては事務局の方で案はありますか。
事務局	地域社会に関連した内容から「国際テロ」という非常に大きな話になってくるとご指摘ですが、「国際テロ」ということが社会情勢の中で存在しているということも事実かと思います。一緒くたで書いてあることが問題なのではというご指摘だと思いますので、表現を別建てとさせていただく、あるいは「国際テロ」の表現を削除するかのどちらかと思いますが、その点ご審議をいただければと思います。
会長	高齢者が被害となる日本の国内の事例から国際的な話になるので、それぞれ「国内においては」「国際的には」などの文言を入れれば落ち着くのではないかと思いますがいかがでしょうか。
委員	いいと思います。
会長	それでは事務局の方はそのようにしてください。 その後、同じく5ページで「ICT」「SNS」「IoT」の文言の列記の前に正式名称を用いたらどうだろうかというご意見がございました。この点についてはみなさまいかがでしょうか。
委員	省略されている言葉はみなさまに理解していただくのが難しいということがあると思いますので、注釈にもっていくか、表現として統一されるか、何か工夫をしていただいた方がわかりやすいのではないかと思います。 納富委員の方からも「関心の高まり」「意識の高まり」という言葉の使い方にご指摘があったようですが、「5. 環境・エネルギーの問題意識の高まり」とありますが、「2. 安全・安心意識の高まり」とあって、「関心の高ま

	<p>り」と「意識の高まり」とどちらが高いのかなとわからないところがあったため、事務局ではどちらが、程度が高いと認識されているか説明していただきたいと思います。</p> <p>最初に出ました社会保障費に関してですが、ごく一般的に「社会保障費の増大」と国の方でも言っていると思いますが、「経費」という文言にした方がいいのか、そのままにした方がいいのか、事務局からは変えさせていただくという説明もありましたので、その点も併せてご説明いただければと思います。</p>
会長	<p>社会保障費の増大に関してご意見がございました。大切な点は本庄市独自の計画ではありますが、上には国というものがありますし、国が通常使っている文言に準じた文言を使用することが理想かと思えます。文言とは別に本庄市独自の制度などをつくっていくということが基本計画だと思えますので、文言にそこまでこだわらなくてもいいのかなと思えますが、政府の使っている文言に準じたものを用いるということではいかがでしょうか。その基本が出来ていれば、違和感のある文言があった際にも「国ではこのような文言を用いている」ということで納得ができるのではないかと思います。事務局の方ではいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>文言につきましては国の資料等々も参酌しながら表現をさせていただいていることが大半でございます。委員のご意見も踏まえて内容的により適切な文言を国の資料も確認しながら、修正すべきは修正するという形でご提案をさせていただきたいと思えます。よろしいでしょうか。</p>
会長	<p>はい。委員からあったほかの意見についてもお願いします。</p>
事務局	<p>「意識の高まり」「関心の高まり」という表現についてですが、納富委員からは事務局案の「問題意識の高まり」という表現に違和感があるとのことご意見がありました。確かにこの点は「環境エネルギー分野への意識の高まり」という方が適切かと思えます。内容的に大きく変わるものではないですが、表現の統一、わかりやすい表現を心がけてご提案をさせていただきます。個人的には「環境エネルギー分野への意識の高まり」の方が適切かと思えますが、ご審議いただければと思います。</p>
会長	<p>「環境・エネルギーの問題意識の高まり」というよりは「環境エネルギー分野への意識の高まり」という文言の方が問題提起を具体的にしているかと思えますので、そういったことでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>いいのですけれど、「意識の高まり」と「関心の高まり」ではどちらが高いという風に思われているのでしょうか。</p>
委員	<p>「分野」を使うか、「問題」を使うかということですが、元々が事務局案の骨子なので、「分野」の方がいいのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>そういうことでいいでしょうか。</p>
委員	<p>いいのですけれど、2番と5番で「意識の高まり」という文言を使ってい</p>

	ますよね。そこがあるので、「意識」と「関心」の言葉は、どちらが高いとお考えでしょうか
会長	どちらが上とか下ということでなく、言い方の問題かと思いますが、明確化するのであれば「意識の高まり」の方がしっくり来るのではないのでしょうか。
事務局	「意識の高まり」ということの方がどちらかといえば、「主体的」という認識を持っています。
会長	「意識の高まり」ということでお願いしたいと思います。 納富委員の意見についてその続きを事務局の方でお願いします。
事務局	「環境・エネルギーの問題意識の高まり」の中の「生物多様性の損失など地球環境問題」の「地球環境問題」を削除することと、2行目の「地球環境保全への」を「それらに対する多くの取り組みが～」という修正案でございます。4行目「東日本大震災より発生した」という部分を「震災における」に修正をした方がいいということと、「原子力発電所事故により発生した放射性物質」とした方がいいのではないかというご意見でした。「大規模集中型の供給体制から再生可能エネルギーを活用した自立・分散型の供給体制へと見直す」という点を全面的に修正した方がいいのではというご意見でした。「電力を中心としたエネルギー供給体制の転換による低炭素社会への移行を促す気運」とした方がいいというご意見でした。7行目に「また」を入れまして、「省エネルギーの推進」の前に「家庭や事業所などにおける」を挿入して「省エネルギーの一層の推進」とし、「省エネルギーの一層の推進なども求められ地域における良好な環境を構築することが必要とされています」という形にしてはどうかというご意見でした。
会長	具体的な部分については、原子力発電所の事故と放射性物質の発生は別々のような文章になっていますが、納富委員からのご指摘では、震災によって事故が発生し、それによって放射性物質による環境汚染としており、より具体的にわかりやすくなったと思いますが、みなさまがよろしければ、提案の文章の方に移行させていただくということでよろしいでしょうか。
委員	本庄市の方が作成した「原子力や化石燃料のみに依存しない」という文章がとても大切だと思いますので、そこは残していただきたいと思います。
会長	そのほかの部分についてはみなさまよろしいでしょうか。
委員	はい。
会長	最後の部分については事務局の方でうまく説明できればお願いします。
事務局	環境エネルギー分野の関係につきましては、納富委員はご専門の分野でございますので、この点について整理をしていただいたのかと思います。納富委員の提案では「自然エネルギーを活用した自立分散型のエネルギー供給体制への転換による低炭素社会への移行を促す気運」という言葉で締めております。その「自然エネルギー」という部分に「原子力や化石燃料のみに依存

	<p>しない」という表現を加えることでより明確なものになるかと思います。最後のところでも「省エネルギーの一層の推進などが求められ、地域における良好な環境を構築」という表現があり、「地域の環境」に戻ってきていることで整理された表現となったかと思いますので、納富委員のご意見を参考にさせていただければと考えております。よろしいでしょうか。</p>
会長	<p>はい。委員のご意見ですが、「自然エネルギーを活用した」という前後の部分に「原子力や化石燃料のみに依存しない」という文言を取り入れさせていただくという形でよろしいでしょうか。</p> <p>他にはございますか。</p>
委員	<p>納富委員からのご意見で「地球温暖化や生物多様性の損失などは」で区切って、「それらに対する多くの取り組みが～」に続くということは、環境だけを指しているわけではないと思います。そのため、「地球環境問題」と限定するのではなく、納富委員の表現に近いものにしていただいた方がいいかと思います。持続可能な社会ということはいろいろな方面で連携していくという国際社会の主流になってきますので、工夫が必要かと思います。具体的には納富委員が書かれた1行目の表現がいいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その点はそのように修正させていただき、「自然エネルギー」のところには「原子力や化石燃料のみに依存しない」という文言を残すという方向でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
会長	<p>他にはございますか。</p>
委員	<p>納富委員の高度情報化のところの略称については、正式名称を記載し括弧書きで略称を入れるという意見に賛成です。頻繁に出てくるならば以後は略称のみでもいいかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。基本計画が出来ましたら、巻末に略語の一覧表が付きますので、わからない文言についてはそこで確認をいただくという形にさせていただきたいと思いますので、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>こういった英語とか今どきの言葉はわからない方も多いかと思うので、例えば、モバイル通信やクラウドサービスなどの言葉は用語解説に入れていただきたいと思います。</p>
会長	<p>他にはございませんか。</p>
委員	<p>「安全・安心意識の高まり」についてですが、元々将来像「あなたが活かす、みんなで育む、安全と安心のまち本庄～世のため、後のため～」の実現に向け作成しているのだと思いますが、「安全・安心意識の高まり」を見ると、自然災害、犯罪、家族関係の希薄化による問題がありますが、交通事故が抜けているのですね。本庄市は県内で一番死亡事故が多いこともありますので、この中に項目を入れていただきたいと思います。</p>
会長	<p>事務局の方で説明をお願いします。</p>

事務局	現在の社会情勢の中で高齢者の交通事故も社会問題になっているかと思 いますので、何らかの形でそういった表現もあった方がよろしいかと思 います。ご審議の中でこんな表現も入れた方がいいということがあれば調整を させていただきたいと思ます。
会長	その辺は協議してできるだけ趣旨に沿う形にさせていただくというこ とでよろしいでしょうか。 それでは7～8ページで納富委員からのご意見をもう一度説明してい ただけますか。「8. 地方分権・広域行政の推進」では、「国・地方自治体とも に財政的に厳しい状況が続く中」とありましたが、この点について事務局か らもう一度説明を頂けますでしょうか。
事務局	納富委員のご指摘は、「住民サービスの向上や行政経営の効率を高める」 ということはもちろんあるが、その前段として「地方自治体が独自の発想で 地域の特性を活かしたまちづくりを行う」という地方の独自の取り組みが必 要ではないかというご指摘かと思ます。
会長	事務局の方では他の部分との整合性などは大丈夫でしょうか。見直した場 合にバランスがおかしくなるといったことはありますか。
事務局	納富委員からのご指摘について国の方で用いている文言など確認をさせ ていただいたのですけれども、こういった表現に変えることで不都合が生じ るといったことはございません。わかりやすくはなるかとは思いますが、文 章の作り方の問題かとも思ますので、各委員からご意見いただければ事務 局の方でも検討したいと思ます。
会長	この件についてご意見はございますか。
委員	事務局に一任します。
委員	事務局一任に賛成です。中身については事務局の方がよくわかっていら っしゃると思ますので、今の表現でもいいですし、変える場合も事務局の方 で判断いただいた方がいいのではないかと思ます。
会長	ありがとうございます。それでは納富委員からのご意見は参考にさせてい ただいて精査していただくという形でよろしいでしょうか。
委員	はい。
会長	他にはございますか。
委員	「7. まち・ひと・しごと創生の推進」についてですが、「時代に合った 地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する、」は 「する、」で終わる表現はこれでいいのでしょうか。「実現を図る」の文言は ④にだけかかってしまうのではないかと思ますので、「～地域と地域を連 携する。」にした方が全体に係ってくるのではないかと思ます。また、① ～④は長期ビジョンに書かれているのでしょうか、総合戦略に書かれてい るのか、どこに記載があるか教えていただければと思ます。「地域と地域を 連携する」と表現について、私もまち・ひと・しごと創生懇談会に出席しま

	したが、その際にも聞いた記憶がなかったため、説明をお願いしたいと思います。
事務局	ここでの記述につきましては、国の方のまち・ひと・しごとの文言をそのまま引用してきているということで、本市の総合戦略の文言ではないということです。
委員	「する、」で終わる表現がおかしいのではないかと思いますので、「地域と地域の連携」といった形で市独自に変えてしまってもいいのではないのでしょうか。
事務局	文章の工夫が必要かと思しますので、調整をさせていただきたいと思します。
会長	まち・ひと・しごと総合戦略で取り上げられている言葉だと思いますので、それでよろしいでしょうか。他にございますか。
委員	全体を見渡して、たしかに「安心・安全」「まち・ひと・しごとの創生」だとか言葉は入っておりますが、本庄市が今後も自治体としての形を維持するためには、適切な医療体制の構築ということが絶対に必要だと思います。高齢者にとってもそうですし、小児、周産期の女性にとっての安心を考えるとその部分が必要になります。それに対する文言が一つも入っていないということが気がかりですので、事務局の方のお考えがあるようでしたら伺いたいと思います。
事務局	この部分は社会経済情勢を切り抜いたということで10項目挙げさせていただいておりますが、その中で本市においては医療体制の充実は非常に重要な課題であるということで、市民アンケート、ワークショップ等でも多数ご意見をいただいているところでございます。次にご議論をいただきます本市の主要課題で、20ページ「③人々の健康と安心な生活の確保」の項目に「健康な生活を支える、いつでも医療にかかれる体制は、人々の安心の根幹を占める。」と挙げさせていただいております。社会経済情勢の方でも入れた方がいいというご議論がございましたら調整をさせていただきたいと思します。
委員	各論の方であります。当然総論の方でも現状として把握しなくてはならないため、健康に関わる問題は現状としてどこかで触れておく必要があると思します。
委員	私も同意見です。先ほど安全・安心のところ交通安全を入れる必要があるとの指摘がありましたが、医療のことも本市にとって大きな課題だと思いますので、「1. 少子高齢化・人口減少社会の到来」にも「高齢者が、住み慣れた地域において～」といった文言もあるので、そういったところにお書きになったらいかがかと思します。
会長	3人の委員から指摘がございましたが、私もこういった内容を入れる必要があると思しますので、総論の方に記述する工夫を事務局をお願いしたいと

	思います。
事務局	救急医療体制、健康長寿関係のことにつきましても「1. 少子高齢化・人口減少社会の到来」か「2. 安全・安心意識の高まり」で入れるのが適切かと考えておりますが、表現を提案させていただきます。
会長	本市においても医療費の増大ということは非常に大きいものがありますから、「1. 少子高齢化・人口減少社会の到来」の部分でいいのではないかと思います。この部分に事務局で検証していただいてということによろしいでしょうか。
委員	はい。
会長	そのようにさせていただきますので、よろしく願いいたします。次に移らせていただいてよろしいでしょうか。
委員	一つだけ説明をお願いしたいのですが、「9. 持続可能な都市の実現」の中で「集約型都市構造」を引っ張り出したのはどういう意図でしょうか。
事務局	人口減少の中で財政面、経済面の課題を解決していくためには、「集約型都市構造」を構築していくことは一つの考え方と思います。他の考え方もあると思いますが、現在全国的には「集約型都市構造」ということが国としても推進しているということでこういった表現をさせていただきます。ご意見いただければ、追記させていただく、あるいは主要課題で記載することも考えられると思います。
会長	他にはございませんでしょうか。ないようでしたら次に移りたいと思います。それでは「第1部序論／第3章本庄市を取り巻く社会経済情勢について」は決めるものは決めて、検討をする部分は検討ということによろしいでしょうか。 続きまして、「第3号 第1部序論／第4章本庄市の概況と課題／3. まちづくりの主要課題について」事務局から説明をお願いいたします。
事務局	●第1部序論／第4章本庄市の概況と課題／3. まちづくりの主要課題について説明
会長	事務局から説明がございましたが、ここから5分ほど休憩とさせていただきます。(休憩)
会長	事務局から説明がございましたが、みなさまからご意見、ご質問等ございましたらよろしく願いいたします。
委員	10ページ「歴史環境」の4行目、「本庄地域は、武蔵七党の一つである児玉党の子孫、本庄実忠が本庄城を築いた～」とありますが、この表現ですと「武蔵七党」「児玉党」は本庄地域とみなされる可能性がありますので、表現を工夫していただきたいです。また、「江戸時代になって本庄地域は、中山道が整備され」とありますが、この内容だと児玉地域が欠けていることと、他方で「戦後は積極的な工業団地の造成により、」という部分は児玉工業団地を指すと考えられ、児玉地域がなくなってしまうことから、何か表現

	方法を考えていただければと思います。
会長	前回の方ではここについて意見は出なかったのでしょうか。本当の歴史というものを伝える必要があると思いますので、修正を加える必要があるか事務局から説明をお願いいたします。
事務局	室町時代のことで児玉地域と本庄地域で分けて表現させていただいておりますけれども、詳しくより正確にというご指摘だと思いますので、庁内にも歴史に詳しい者もおりますので、史実に基づきまして表現の方を検討させていただきます。併せて、江戸時代の本庄地域の表現に関しましては、児玉地域の表現が欠落されているのではという点につきましても研究をさせていただきます。ご提案をさせていただきます。
会長	ここでは史実に基づけば委員の指摘のようなことではなかったかということだと思います。「江戸時代になって本庄市は」といった形で混同を生まないように史実に基づいて検討をさせていただければと思います。そのようなことでよろしいでしょうか。 他に質疑がございますか。
委員	塙保己一先生の記述は出てくるのですが、展示コーナーもある石川三四郎の記述がないのはなぜなのでしょう。
事務局	ご指摘の通り、偉人という表現が適切かはわかりませんが、石川三四郎という方も旧本庄市の時代には非常にPRをさせていただいたこともありますけれども、元々石川三四郎という方はアナーキストでございまして、こういったまちづくりに関する計画書で記述することが適切かということもありますので、決して忘れてはいたしません。現在は塙保己一先生の方を重点として広報させていただいておりますので、こういった記述とさせていただきます。
会長	よろしいでしょうか。
委員	はい。
会長	他にありますでしょうか。
委員	歴史環境のところは、この中ですごく大事だと思うのですが、他のところは事前に資料を読ませていただいてすごくよくできていると思います。口に出して読んでいてたまに引っかかるところは修正していけばいいと思うのですが、ただ、歴史環境のところは、塙保己一先生の記述が4行しか書いていません。塙保己一先生のすごいところは資材を投げ打って、世のため、後のために尽くした人です。塙保己一先生がいなければ、日本の歴史文学は、後世に伝わらなかったというぐらい素晴らしい方ですが、歴史環境には思ったほど書かれていません。本庄市として塙保己一先生をPRする機会をつくるため、会議にも参加させていただいているので、もっと厚く記述してほしいです。盲目というハンデを乗り越えて尽くした偉人という言葉を加えて欲しいです。もし次回もこの件が議題となるのであれば、私の方で文章も作

	<p>らせていただいて提示をさせていただきたいと思います。本庄市は安全・安心というものはあるのですが、それに関連する塙保己一先生の持論なども記述するようなわくわくする内容にしたいなと思いました。</p>
会 長	<p>塙先生をもっと表に出したらどうかという提案でしたが、事務局の方はそれでよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>「鎌倉時代の史料」の記述もありますので、「いざ鎌倉」ということで鎌倉街道の記述も入れていただきたいです。埋蔵文化財に関する記述もありますが、「はにぼん」はここでは記述できないですかね。文言一つでもいいですから。</p>
事務局	<p>ご提案ありがとうございます。あくまでもまちづくり計画ではありますけれども、歴史をしっかりと伝えていくことも大事だと再認識しましたので、「はにぼん」や鎌倉時代の記述、塙保己一の記述も厚くできないかということでございましたので、もう少し研究して次回の審議会かその次の審議会になってしまうかもしれませんが、検討はさせていただきたいと思います。</p>
会 長	<p>小学校でも黒板の上に塙先生の肖像画があるのですよね。本庄と児玉が合併してこういう作り方になっていったのかなと思いますが、我々が小学校の時に教えていただいたのは、本当に世のため、人のために借金をしてまで後世に残る偉業を成し遂げた方で、健常者でも難しいのに実は盲目だったのですよという教え方だったのです。最初から盲目ということを教えられたわけではないのですが、どういうわけか盲目の国学者、目が見えないのにすごいといった言い方をされてしまって解せないのですが、真実はそうではなくて、人としてすごいことをやった、だけど目の不自由な人だったという順番で教えられたのです。こういった計画書に謳えということも無理な話ですが、少なくとも作成をするにあたってそういった認識は共有しておいてほしいと思います。</p>
委 員	<p>先ほどから本庄地域、児玉地域といった議論がありますが、合併の話を出せば筋が通りやすくなるし、現状の合併の話を入れれば、本庄市のキャラクターである「はにぼん」の話も触れやすくなるし、本庄地域と児玉地域がどういう風になっていったのかといった話も分かりやすくなるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>現行の平成20年度から29年度にかけての総合振興計画においては歴史環境の中に「歴史」と「合併までの経緯」という項目を設けて記述しております。そういったこともありますので、今いただいたご意見も踏まえて、どういった記述が適切かは検討させていただければと思います。</p>
委 員	<p>19ページの①少子高齢化への対応の中に、現在子育ての支援について社会的なサービスということも記述することが大切だと思います。充実した職業と家庭生活が両立して、安心してお母さん方に子育てをしてもらうということを重要課題として取り組んでいただければと思いますので、充実した子</p>

	<p>育て支援を位置づけていただくことを提案させていただきます。</p>
会 長	<p>高齢化といった文言は目立つけれども、それと同等またはそれ以上に子育て支援を強化して入れてみたらどうかという意見なのですが、私も同意見を言わせていただければと思っていました。高齢化については施設も整っているが、子育てに関しては予算化も手ぬるいのではと感じています。高齢化を先に出して、子育て支援を後に回すのか。少子高齢化というならば、まずは少子化対策を先に持つてくるのが筋ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>子育てに対する支援の充実なくしてはこれからの社会は成り立たないというご意見かと思えます。子育てに対する行政サービスを充実させていくということが前面に出ておらず、順番も後回しになっているというご指摘かと思えます。少子化に対しては、アンケート、ワークショップ、社会経済情勢についても出ておりますが、国の方でも少子化への対応は喫緊の課題だといわれている状況もございますので、文章化するにあたっては、子育て環境の充実を表に出し、少子化の方を先にした形としてご提示したいと思います。</p>
会 長	<p>文章のまとめ方としては子育て支援などの少子化対策を前段に、後段で高齢化問題という書き方とさせていただきたいと思えます。</p> <p>他に何かございますか。</p>
委 員	<p>最初のところで健康や医療を入れるといった議論もあったので、少子高齢化のところでは健康寿命の延伸といった内容も入ってきますが、高齢化は現役世代が高齢化していく訳ですので、その辺の順番や書き方を工夫してもらう必要があるかと思いました。それから少子化についてはまず子育て環境をとるという議論がありましたが、産まないことには話にならないので、安心して子どもを産み育てるといった言葉がキーワードになってくると思えます。そのことを盛り込んでいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>少子高齢化のところでは現役世代が高齢化していくという段階も留意しながら文章の作成はしていきたいと思えます。安心して子どもを産み育てるといった言葉がキーワードになってくるという点も留意しながら進めていきたいと思えます。</p>
委 員	<p>主要課題は、「・」（箇条書）と「⇒」（矢印）で表現されている内容は両方とも文章化に際して残るのでしょうか。</p>
事務局	<p>「⇒」矢印の部分についてはこの後の基本構想の基本理念で表現される内容であって、主要課題は「・」（箇条書）部分を文章化していくこととなります。</p>
委 員	<p>「・」（箇条書）部分は全体的にあまりにも要約しすぎていて、先ほど来の議論にあるように真剣に考えていくと、ずいぶん抜けているところが多いと思えます。大分精査をしないとこの短い論議の中では終わらないと思うので、ここはもっと時間を共有すべきかと思えます。この後も変える機会があれば構いません。</p>

会長	出来れば多くの方の意見を取り入れたうえで作成しなくてはならないと思っておりますが、意見が出ないことには変えようがございませんので、例えば、この部分はこういう風に変えるべきではないかということであれば、ぜひご意見を出していただければと思います。
委員	文章になるときにまたこの部分は議論しますよね。
会長	ここで意見が出なければそれを基に文章化してしまいますので、そこでまた見直しはできるだろうけれど、本来ならここですべて見ていく必要があると思います。事務局の方で説明をお願いいたします。
事務局	「・」(箇条書)の内容を基に文章化していきますが、会長からご説明いただいたとおり、ここで挙げられている以外のキーワードなどがご意見としてありましたら、文章の中に反映ができるということでございます。「・」(箇条書)の内容だけを単純につなげてしまいますと数行で終わってしまいますので、今まで出ているご意見や社会経済情勢の中でいただいたご意見なども踏まえて文章化をさせていただきます。抜けている点についてあらかじめご意見をいただければ文章も作りやすくなるかと思っております。そのような形でいかがでしょうか。
会長	そうだと思います。そのために事前に配布もさせていただいております。記述が抜けているところをあらかじめ考え、それを持ち寄っていただきたいです。ここですべて議論するのは時間が足りなくなってしまうので、そのように考えていただければと思います。
委員	それでは、まちづくりの主要課題①少子高齢化への対応のところですが、経済的支援を本庄市は全部おこなっていますので、経済的支援という文言をどこかに入れていただきたいです。その下の②次世代を担う人材の育成などでも学校のことについては教育方針なども各学校が細かく出していますので、この辺はもっと充実させていただければと思います。
事務局	現在も行われている経済的支援の環境をしっかりと堅持するといった表現も必要かと思っておりますので留意していきたいと思っております。②次世代を担う人材の育成での学校教育環境について表現が薄いということかと思っておりますので、教育委員会とも協議しながら、基本計画の記述とも調整しながら、表現の仕方を留意していきたいと思っております。
会長	経済的支援や学校のもう少し強化した文章としていければと思います。他にございますか。
委員	③人々の健康と安心な生活の確保に「悩んでいる人を理解し」を入れた理由と、「安心に満たされる」ということまで書いてしまっているのかということの説明をお願いいたします。
事務局	ここの表現は非常に悩んだところでございます。策定中の本庄市地域福祉支援計画や国の政策の表現なども参酌させていただいて記述させていただいたところですが、ご意見も踏まえて作成をさせていただければと思いま

	す。
会長	他にはご意見はございませんか。 それではないようですので、協議事項第4号 第2部基本構想／第1章基本構想について事務局から説明をお願いいたします。
事務局	●第2部基本構想／第1章基本構想について説明
会長	それではご意見はございますか。
委員	23ページのまちづくりの基本理念②訪れたいくなる住み続けたいくなるまちづくりの「地域の歴史と自然を活かした観光の振興と、対外的な発信力の強化」については、「地域の歴史と自然を活かした学校教育、観光の振興と、対外的な発信力の強化」にしていきたいです。
会長	①みんなで育む安心・共生のまちづくりでも学校ということが出てくるわけですが、その後でも学校が出てきてしまいますと整合性がどうかということになるかと思えます。
委員	整合性がおかしいのであれば、「地域の歴史と自然を生かした学校教育」という文言を①みんなで育む安心・共生のまちづくりに入れてもらいたいです。
事務局	①みんなで育む安心・共生のまちづくりを文章化していく際に、そういった表現を入れられるかということを担当課と協議しながら作っていきたくと思いますが、そういったことでいかがでしょうか。
会長	後ほど教育委員会とも協議しながら入れられるべき部分は検討させていただきたいと思えます。他には質疑ございますか。
委員	②訪れたいくなる住み続けたいくなるまちづくりの中で、農業に触れた後で地域経済といった記述がございましたが、その後のにぎわいやまちなかの再生といった点は記述が薄いと感じます。まちなかの活性化には地元の商工業の方の育成を支援するといったことが読み取れるといいのではと思えます。③市民と行政がともに創る安全のまちづくりについては、行政単独で何かが成り立つ時代ではないことは承知していますが、行政が最後の砦であるということもあると思うので、最後の砦として行政がしっかりやっていくという内容を入れてもらった方が、安心感が増すと思えます。
事務局	商店等の育成といった記述がある方がいいのではないかというご指摘ですが、まちなかの商工業、にぎわいを創出していくためには不可欠にはなるかと思えますので、担当課と調整させていただきたいと思えます。③市民と行政がともに創る安全のまちづくりでは、協働のまちづくりには、行政がしっかり役割を果たすことが必要で、そこが根幹になるのだというご指摘だと思います。協働における行政の役割の表現に留意をして文章化をおこないます。
副会長	本庄早稲田地域には、本庄早稲田駅が出来て、早稲田大学もあり、にぎわいがありますが、本庄市には大きな病院がないためみんな不安がっています。

	<p>す。大きな大学病院を誘致してくれれば、安心につながるし、少子化にも貢献できるということが話題に上がっています。ぜひ10年を見据えて誘致していただければ安心して暮らしていけるのかなということ、この点も検討していただければと思います。</p>
会長	<p>表現については検討をする必要があるかと思いますが、場所はともかくとしてそういったことも問題だという認識して議論していければと思います。そういうことでよろしいでしょうか。他にございますか。</p>
委員	<p>23ページの②訪れたいくなる住み続けたいなるまちづくりの・美しい環境を次の世代に引き継いでいくための、環境にやさしいまちづくりの意味は大枠わかりますが、本庄市は再生可能エネルギーの埼玉県モデル地域にも指定され、補助金も受けています。再生可能エネルギーを活用して、もう少し違うまちづくりをしていくつもりがあるのであれば、そういった文言を「美しい」「やさしい」といった文言に変えて将来的なエネルギーの活用方法を入れていただいた方がいいのかと思います。</p>
会長	<p>文章の書き方についてですが、ここではあえてこういった抽象的な書き方にした方がいいのか、具体的な突っ込んだ文章にできるのか事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>該当の表現をまちづくりの主要な課題に遡りますと、「・自然環境への意識、エネルギー問題への関心の高まり等を踏まえた、環境保全への取り組みが重要。」「・廃棄物の減量化と再資源化を進める一層の取り組みが重要。」が対応する主要課題となっております。この中に含まれているのがやはり再生可能エネルギーの活用といったこともあるかと思いますが、その点も留意して文章化していくよう検討いたします。</p>
会長	<p>他にはございますか。</p>
委員	<p>23ページ①の「・次世代を担う子どもたちへの確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育」に食育の言葉を入れていただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>「健やかな体」の中には食育も要素として十分含まれているのではないかと思いますので、文章化していくときに留意していきたいと思います。</p>
会長	<p>食育については子どもたちだけではなくすべての市民において必要なことだと思います。そういったことも事務局と相談して作成させていただければと思います。</p>
委員	<p>①みんなで育む安心、共生のまちづくりについて「・地域に根差した学校を中心とした、学校・家庭・地域の連携の強化」は、「学校を中心」としているのか、「連携を強化」しようとしているのかお答えいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>学校教育においては学校だけでは教育というものはなかなかうまくいかない状況になってきていると思います。学校教育に任せるのではなく、家庭</p>

様 式

	や地域もともに学校づくり、教育に携わっていくということで、それをより強化していくことが必要という表現をしております。
委 員	人口減少が起こってきたときに、学校も統廃合の問題が生じたことを踏まえて、学校は中心だからできるだけ無くさないということなのか、コミュニティスクールみたいに連携をしっかりと結んでおこうということなのかを聞いておきたかったところです。
事務局	コミュニティスクールを念頭にしております。ここでは人材育成ということでこういった表現とさせていただいているところです。
会 長	他にご質問はないでしょうか。 それでは、第2部基本構想／第1章基本構想についての質疑は終了させていただきます。また、25ページの中で本庄市の将来像を提案しておりますが、8月頃までを目途に決定させていただければと思います。現行案と下の3案だけでなく、自分だったらこういった将来像がいいというものがあれば、作成していただき、提案をいただければと思います。 それでは、協議事項4号まで終了しましたが、それ以外の点でご意見等ございましたらお願いいたします。
委 員	全般的な点ですが、障害者の「害」の字については平仮名が一般的かと思えます。基本構想の中でも「害」の字の扱いについて伺っておきたいと思えます。
事務局	障害福祉計画も作成しておりますので、そちらとの整合性を取りながら作成させていただきます。
会 長	この点については、国の方で「障害者」という言葉を使っているから做わなければならないということにはならないのではないかと思います。本庄市の独特な特色として平仮名で行くということもありだと思えますので、関係課と相談していただきたいと思えます。他にありませんか。
委 員	23 ページにある「確かな学力」というのはどういう風に受け取ったらいいのでしょうか。
事務局	教育委員会の方でもこういった表現をしてございます。文章化する際に説明できるような形で進めたいと思えます。
会 長	「確かな学力」には何か基準があるのでしょうか。
事務局	教育委員会の中ではこの言葉はかなり引用されておまして、わかりづらいというご指摘もあるかと思えますので、整理をさせていただいて文章化したいと思えます。
会 長	他にはございますか。
委 員	32 ページ政策大綱の⑥ 行財政経営分野の「財」の字が「材」となっています。
会 長	ありがとうございます。他にはございますか。
委 員	28 ページで「仲仙道線」の「中」が「仲」となっています。

様 式

事務局	都市計画道路の名称は「仲仙道線」です。
会 長	他にはございますか。ないようでしたら、これで本日の議事は終了とさせていただきます。それでは進行を事務局にお返しいたします。議事の進行へのご協力と熱心なご審議に感謝申し上げます。ありがとうございました。
事務局	みなさま長時間にわたりまして、慎重なご審議、ご意見をいただき、大変ありがとうございました。議長を務めていただきました会長ありがとうございました。それでは事務局の方から次回3回の日程についてご連絡をさせていただきます。 次回は4月20日(木)午後1時半から同じ6階大会議室にて開催したいと思っております。後日資料、通知を郵送させていただきますので、よろしく願いいたします。 それでは閉会にあたりまして副会長よりごあいさつを頂戴したいと思います。
副会長	委員のみなさま長時間にわたりまして本当にありがとうございました。これで本年度の審議会は終了でございます。今度は4月20日でございますので、よろしく願いし、閉会のあいさつとさせていただきます。
事務局	ありがとうございました。以上を持ちまして本日の日程すべて終了とさせていただきます。本当に長時間ありがとうございました。

会 長 広瀬 伸一